

ヒドロモルフォンの用法と食事との相互作用は臨床的影響に関する研究

1. 研究の対象

2018年3月～2022年11月に当院でナルサスの処方を受けられた方

2. 研究目的・方法

がん性疼痛に対して使用する商品名：ナルサス（一般名：ヒドロモルフォン）は、食事の影響で血液内濃度の変動することが報告されています。その食事の影響が薬の効果として影響が出るほどなのかを調査します。

調査方法は、下記の通りです

- ① 食後にナルサスを服用している患者様とそれ以外のタイミングで服用している患者様で比較を行い、食事の影響を確認します。ナルサスを服用開始してからの追加での鎮痛剤の使用状況で痛みのコントロールを確認し差があるかを調査します。
- ② ナルサスの同一容量での服用期間を食後服用の患者様とそれ以外のタイミング服用している患者様でどちらが長い間服用を継続できたかを比較します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、体重、病歴、処方内容、鎮痛剤の使用状況、ナルサス服用期間、血清クレアチニン値

試料：血液

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 0771-42-2510

研究責任者：

京都中部総合医療センター 春名 康裕

-----以上